

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部

第 1 0 6 回 本 部 会 議

日時：令和4年4月15日（金）15：00～

場所：本庁3階テレビ会議室等

1 開 会

2 議 事

「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い」（協議事項）

3 閉 会

資料1 道内の感染状況等について（案）

資料2 札幌市の感染状況について

資料3 「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い（案）」

資料4 「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い（道案）」
に対する主な意見

資料5 環境生活部における感染防止対策等の取組

道内の感染状況等について (案)

【令和4年4月15日】

主な指標の状況

4/14	レベル	移行指標				その他指標		
		病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合 (注)	PCR 陽性率 (注)
全道	2	16.6% (354床) ↓	5.2% (7床) ↑	297.8人/週 (15571人/週) ↑	405.6人 (21206人) ↑	1.13 ↑	66.0% ↓	34.2% ↑
札幌市	2	23.6% (157床) ↑	2.2% (1床) ↑	360.1人/週 (7063人/週) ↑	426.6人 (8369人) ↑	1.08 ↑	86.7% ↓	41.6% ↓
札幌市を 除く地域	2	13.4% (197床) ↓	6.7% (6床) ↑	260.4人/週 (8508人/週) ↑	392.9人 (12837人) ↑	1.18 ↑	48.8% ↑	29.9% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週	20人			
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—	—			

※()は実数。

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注) 現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

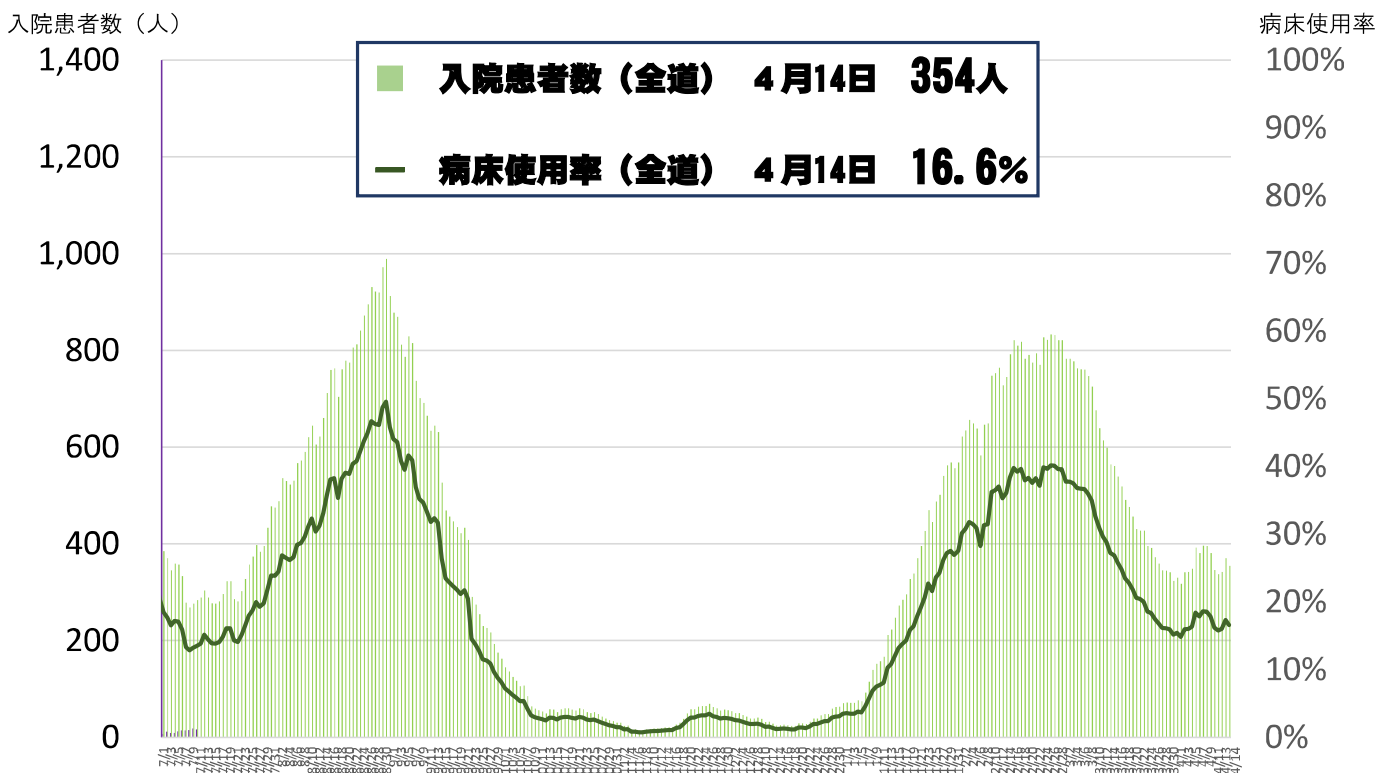
総評 ②

【今後の対策】

- 新規感染者数が高い水準で推移するとともに、今後、感染性がより高いとされているBA.2系統への置き換わりが進むことが懸念されるほか、人の移動が活発となるゴールデンウィークを控える時期となることから、感染拡大防止に向け、道民の皆様にご協力をお願いしたい行動として、改めて、三つの密の回避やマスクの着用をはじめ、飲食の際の行動など、基本的な感染防止行動を効果的に働きかけていく。
- ワクチンについては、全世代の3回目接種率が46.9%で全国平均とほぼ同ペースで進んでいるものの、64歳以下の接種率は、2回目の接種時期の関係もあり、全国平均を下回っていることから、新たに接種の対象となった12歳以上17歳以下の方も含めた若年層への積極的な呼びかけとともに、北海道ワクチン接種センターで、大学や企業等を対象に団体接種を開始するなど、幅広い世代での3回目接種の加速化を図る。
- 無料検査事業のうち、感染拡大傾向時の一般検査事業については、レベル2相当以上の感染状況が継続していることから、5月末まで期間を延長する。
- BA.2系統については、引き続き、ゲノム解析によるモニタリングを実施し、その動向を監視していく。

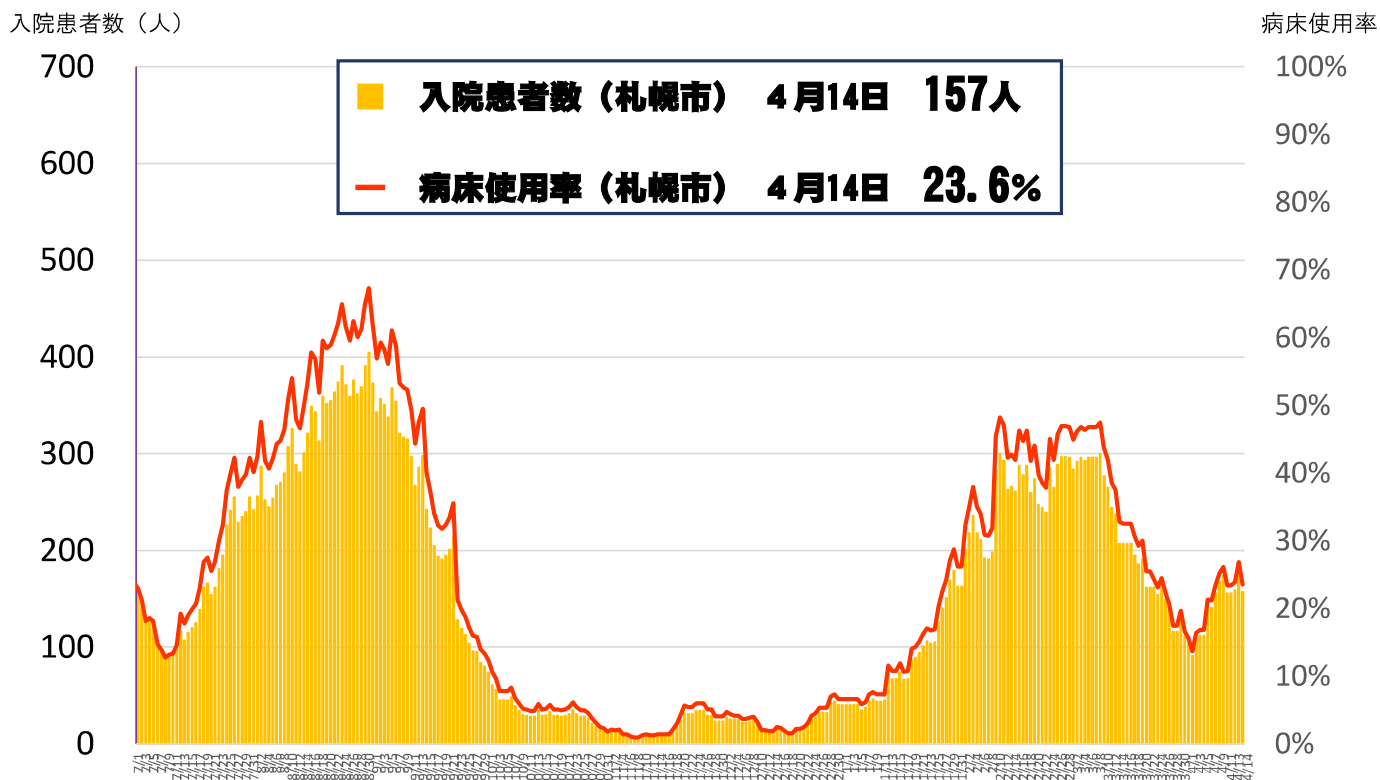
4

入院患者数と病床使用率（全道）



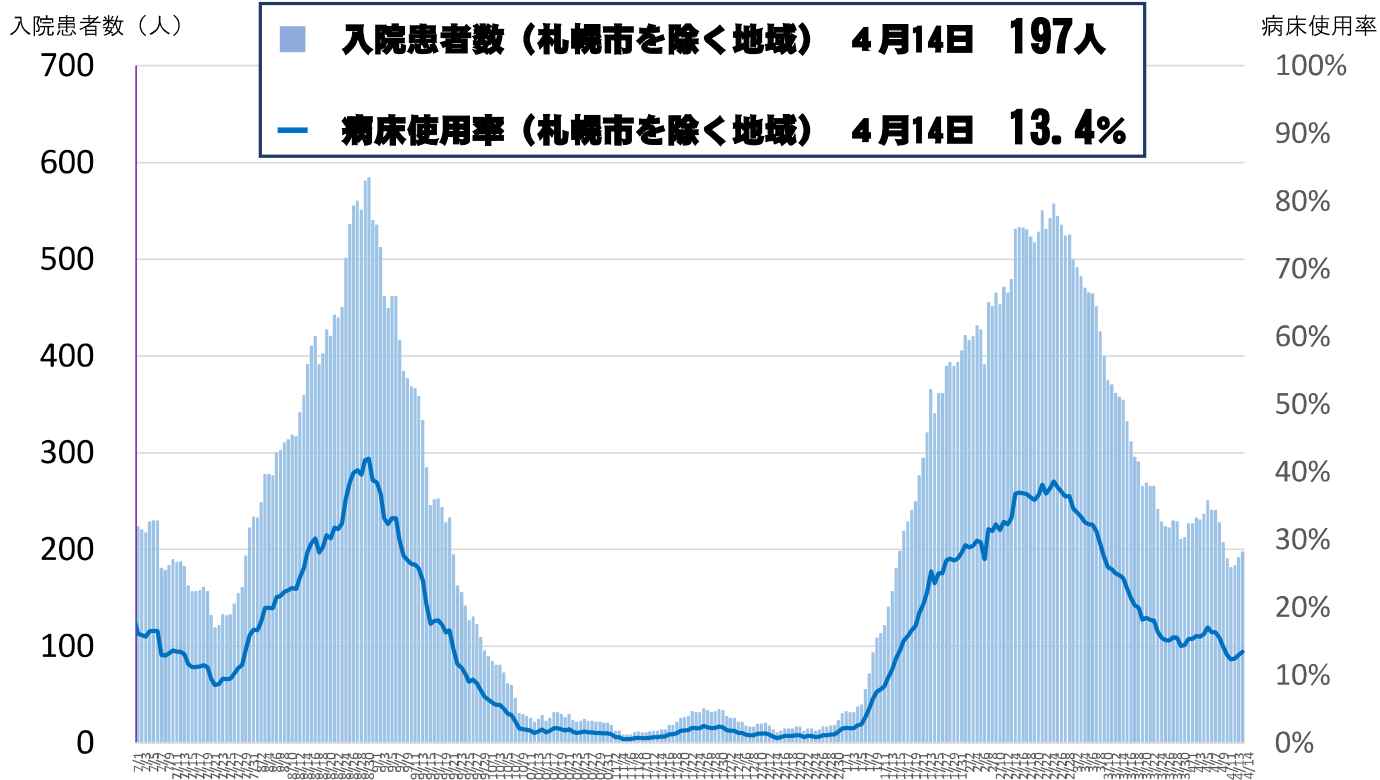
5

入院患者数と病床使用率（札幌市）



6

入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

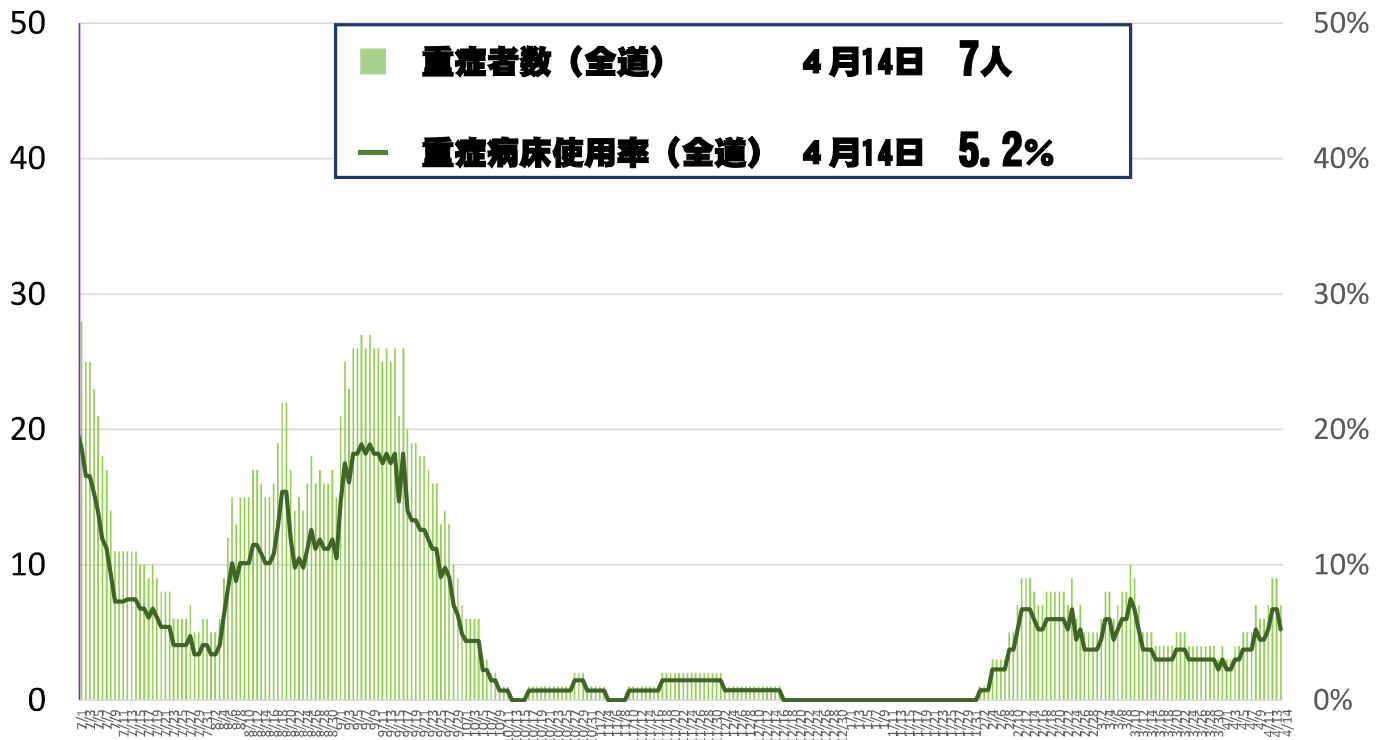


7

重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

病床使用率

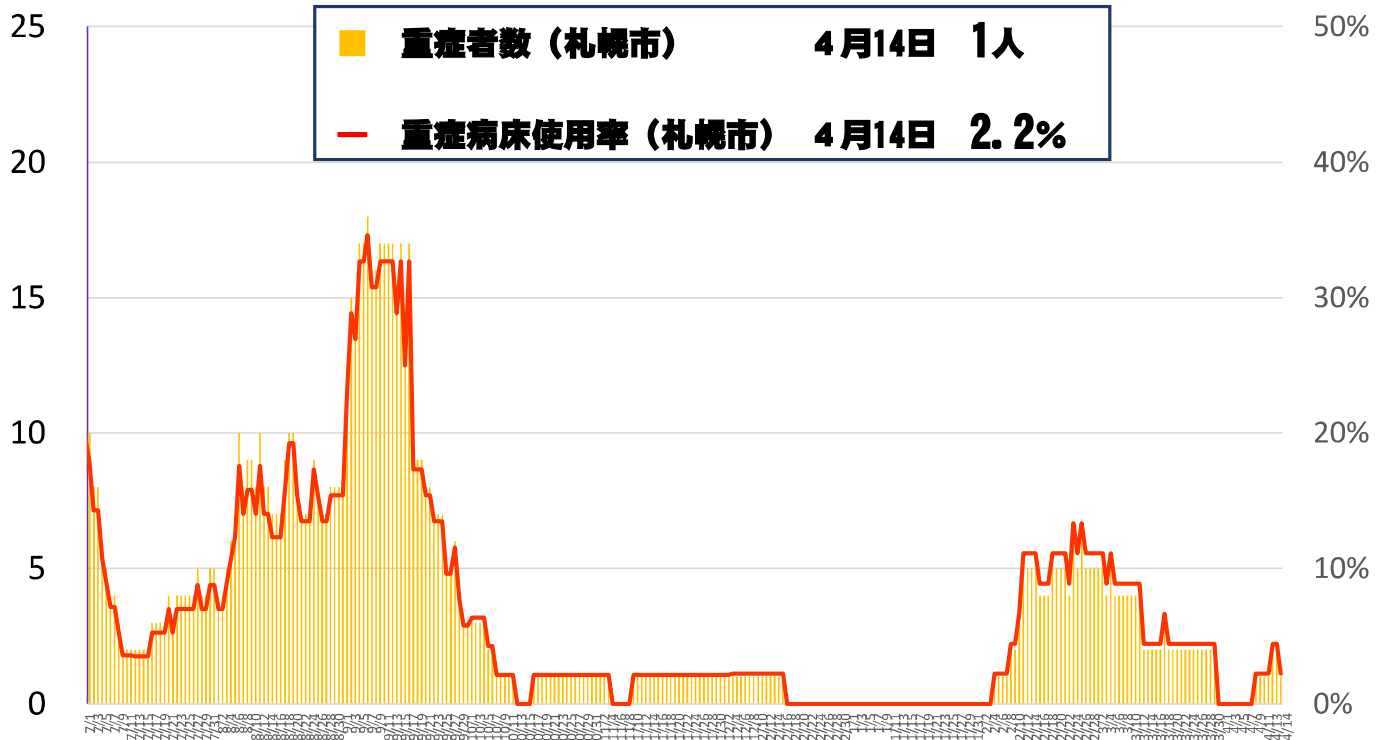


8

重症者数と重症病床使用率（札幌市）

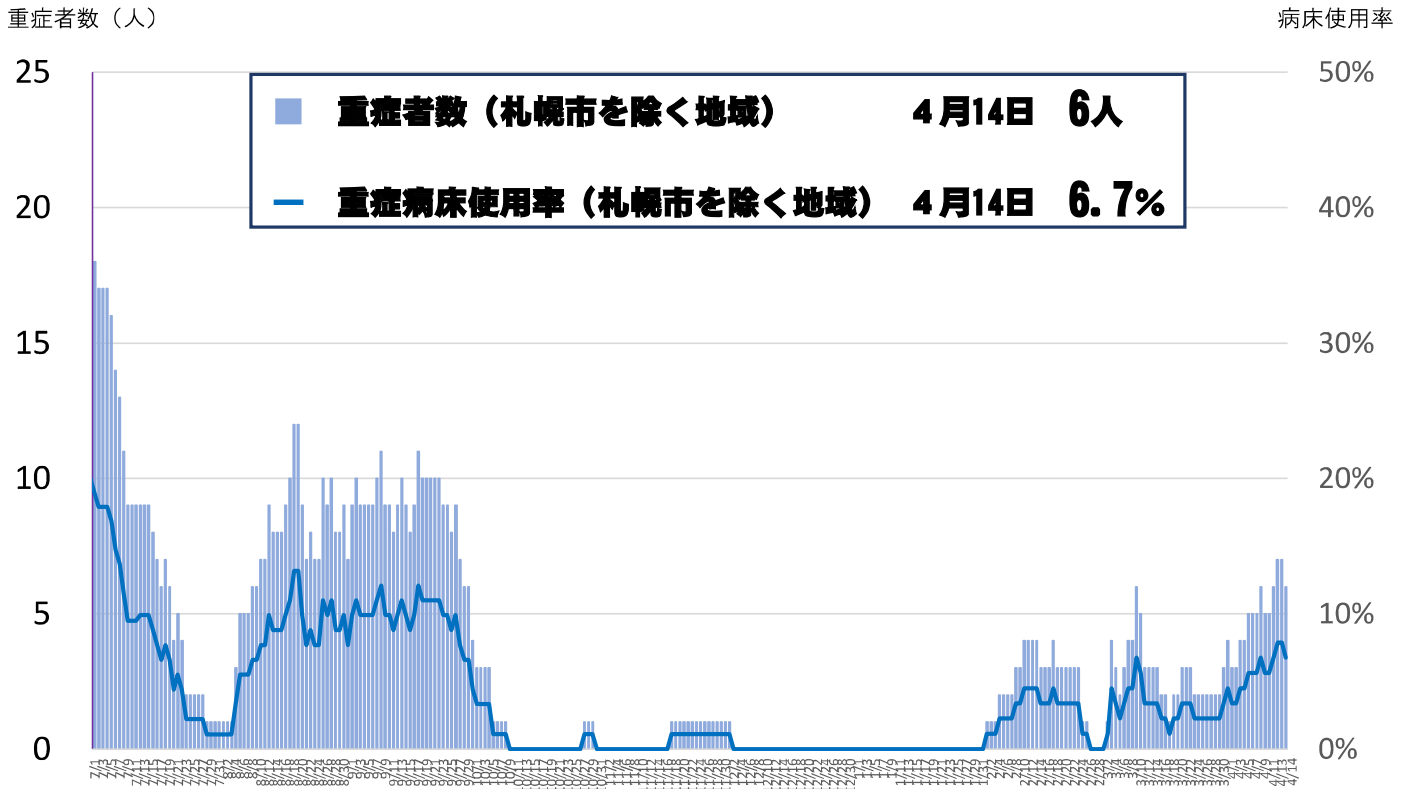
重症者数（人）

病床使用率



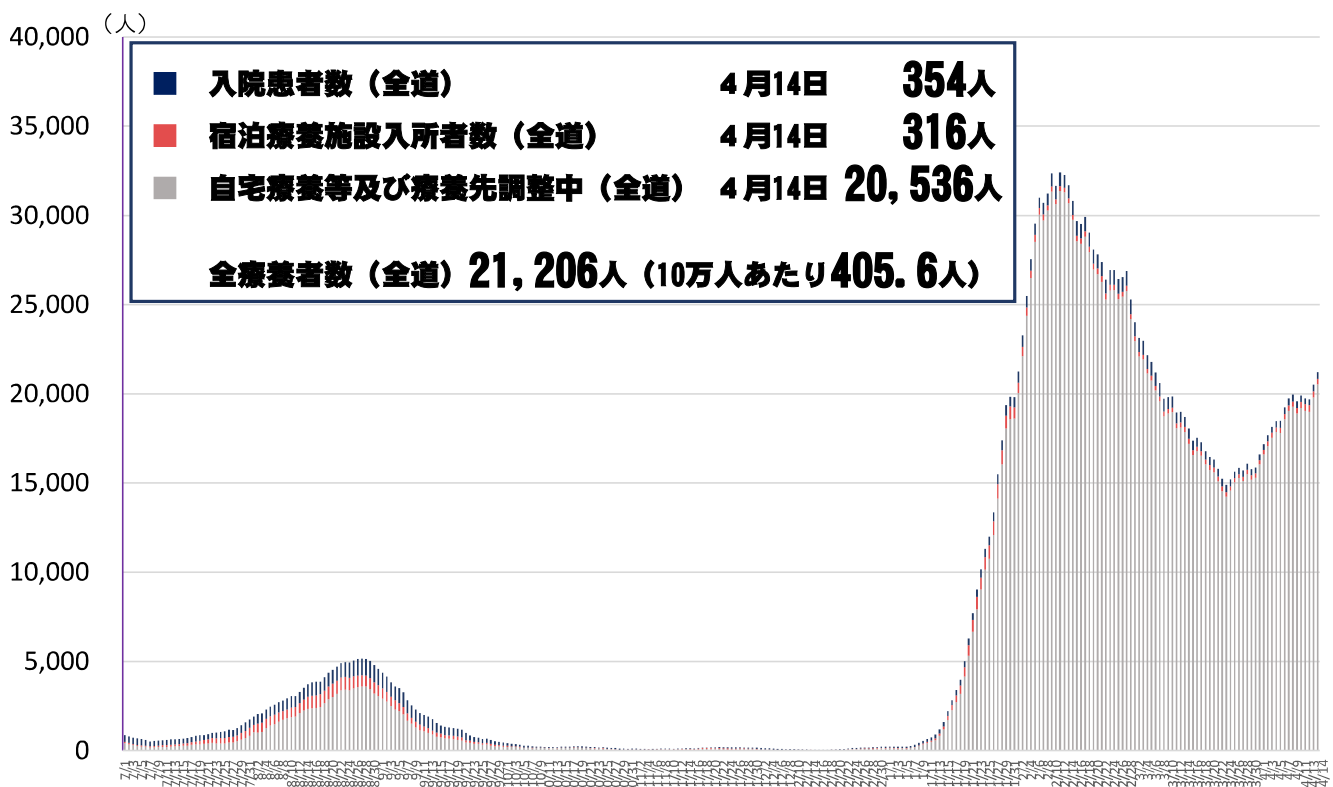
9

重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）



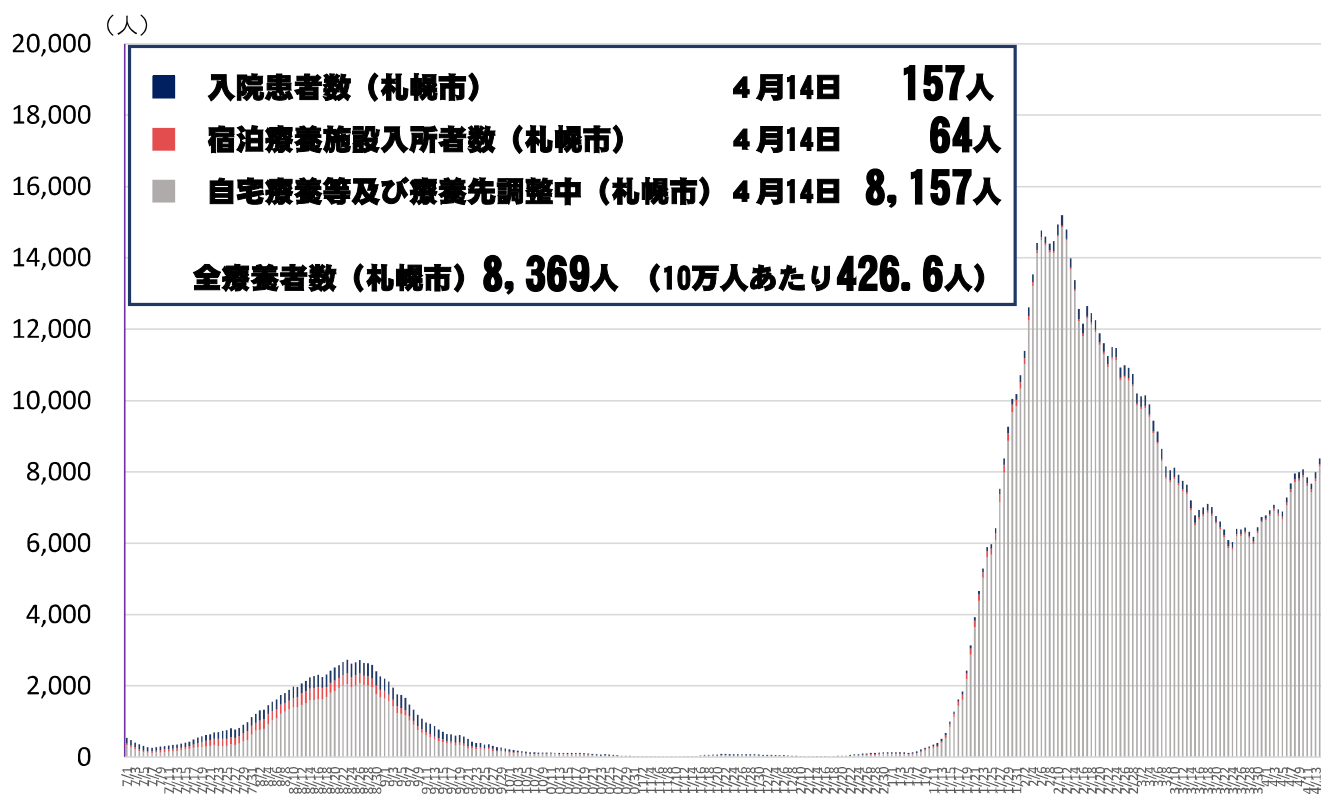
10

療養者数（全道）



11

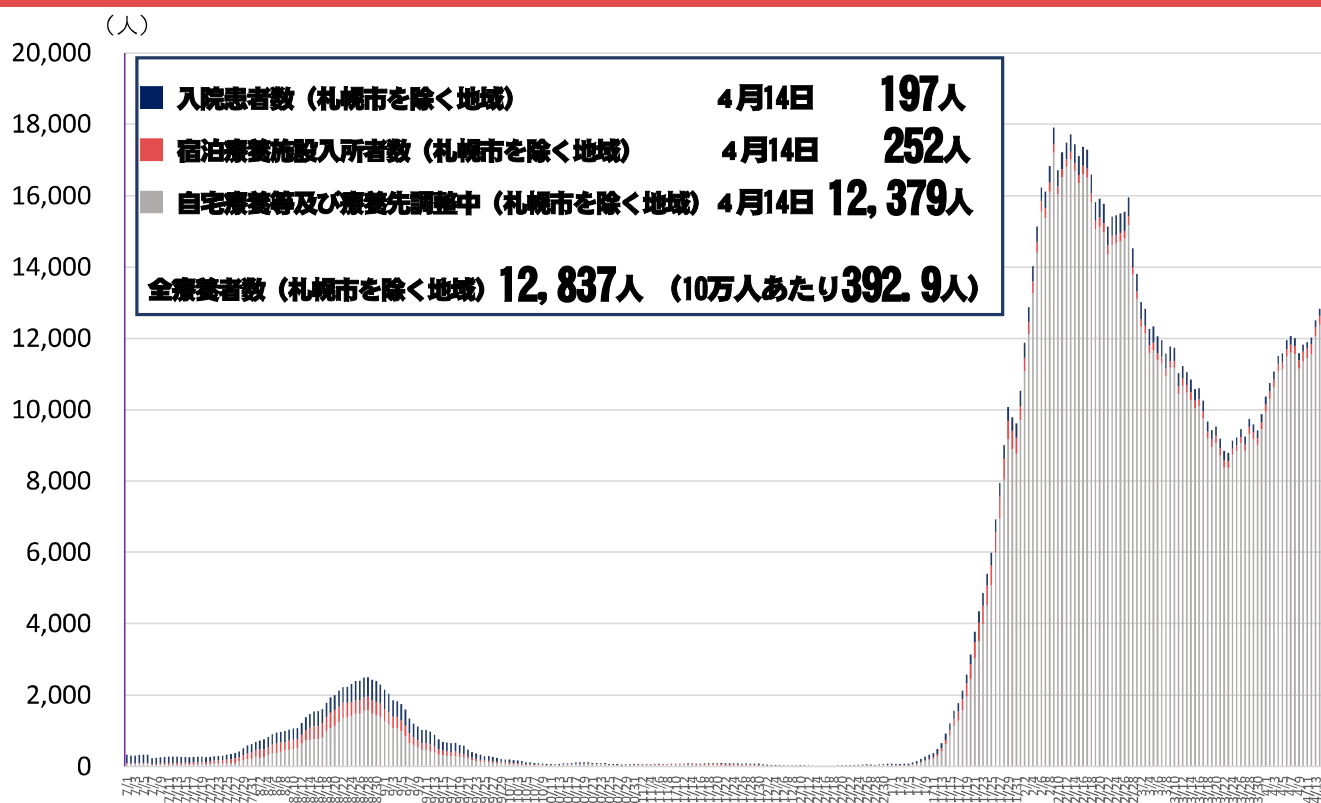
療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

12

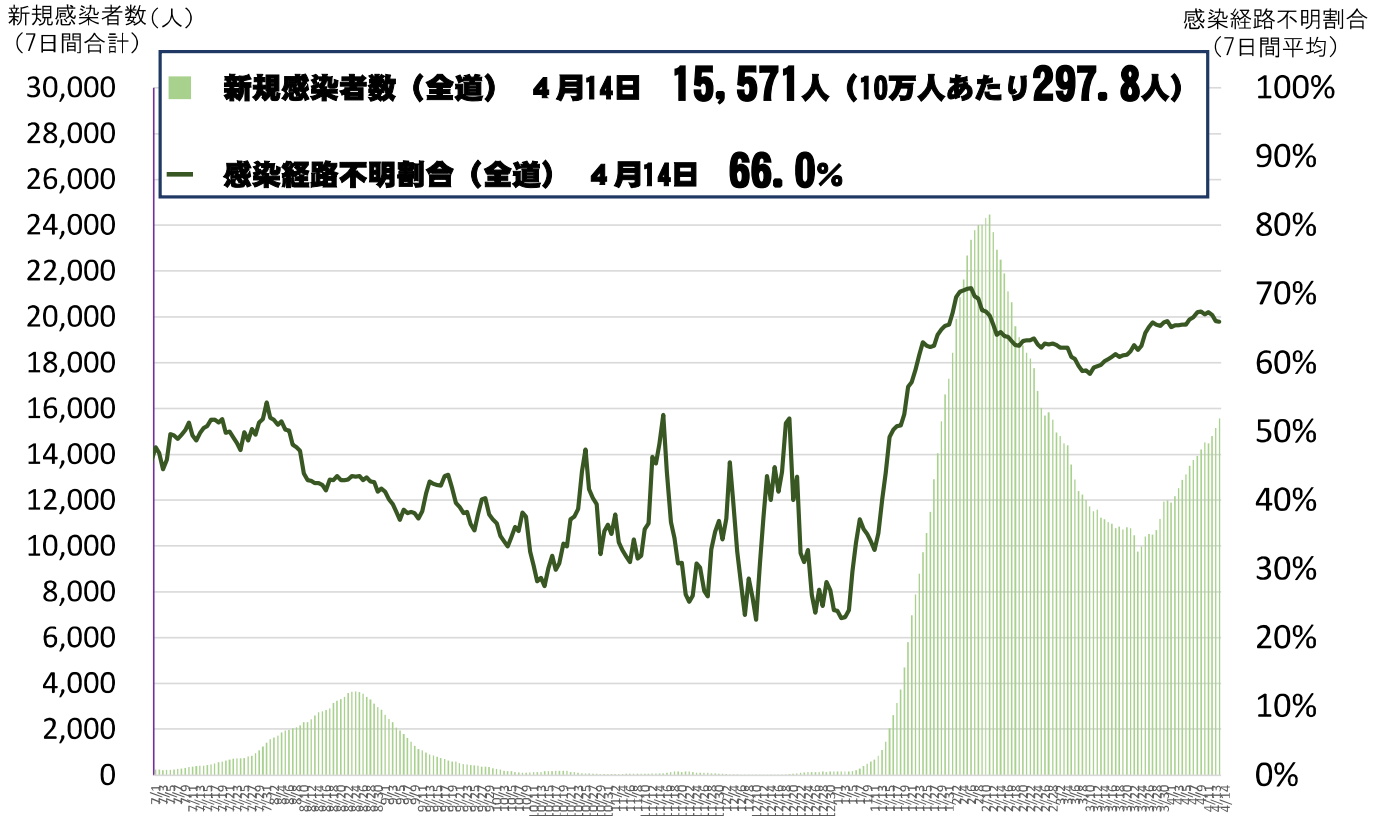
療養者数（札幌市を除く地域）



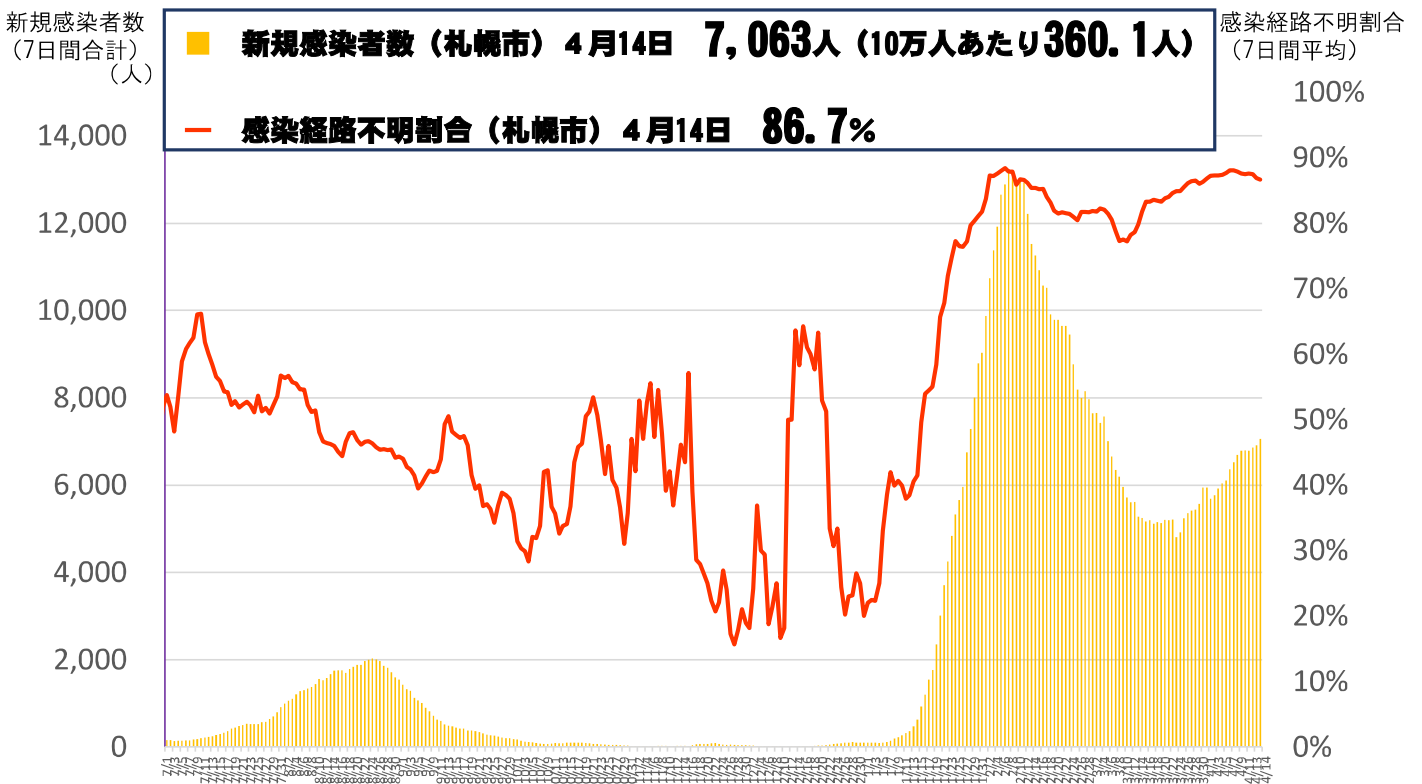
※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

13

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）



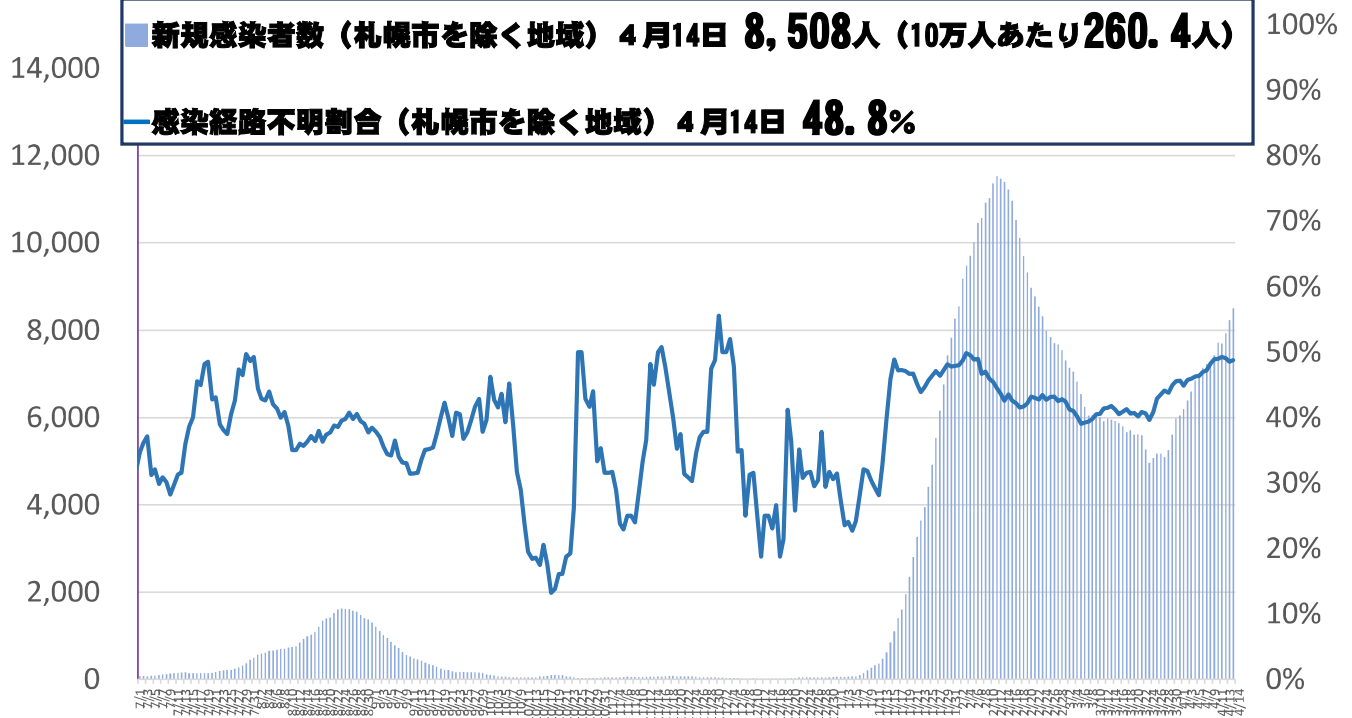
新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）



新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

新規感染者数(人)
(7日間合計)

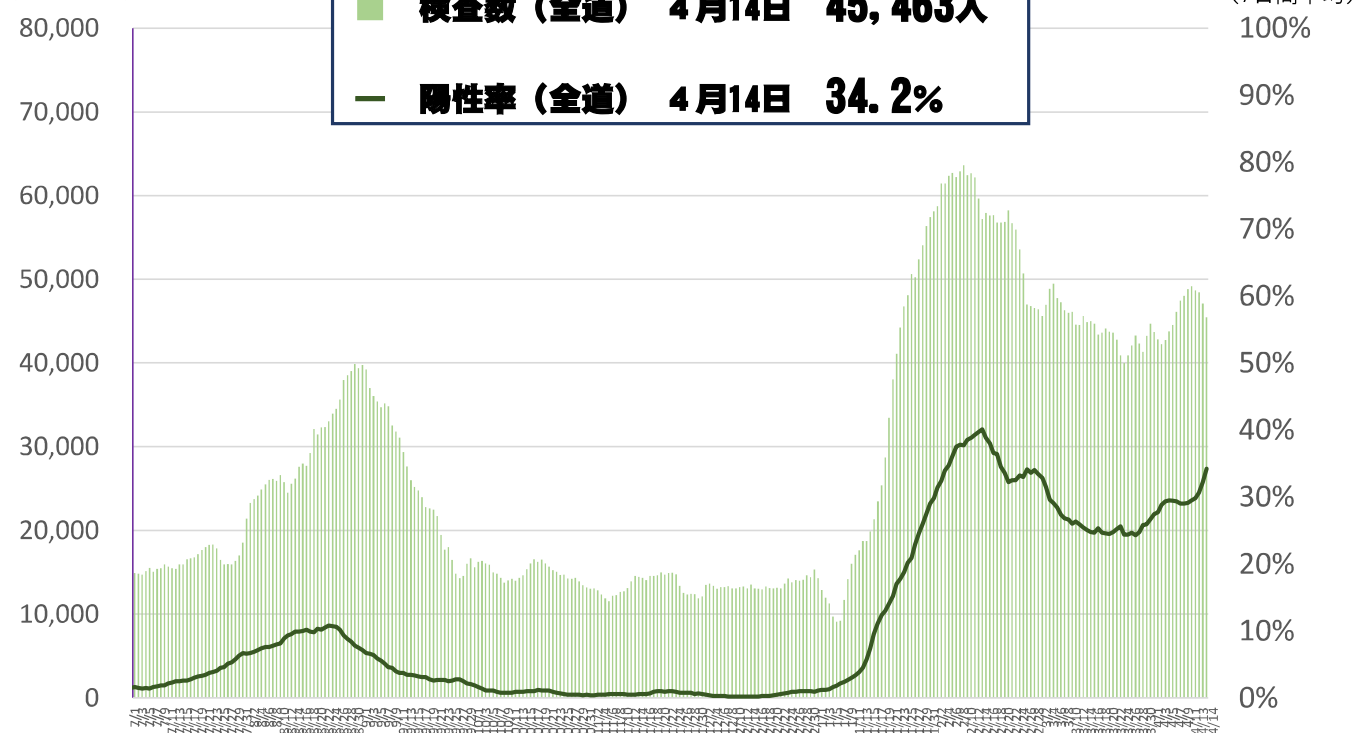
感染経路不明割合
(7日間平均)



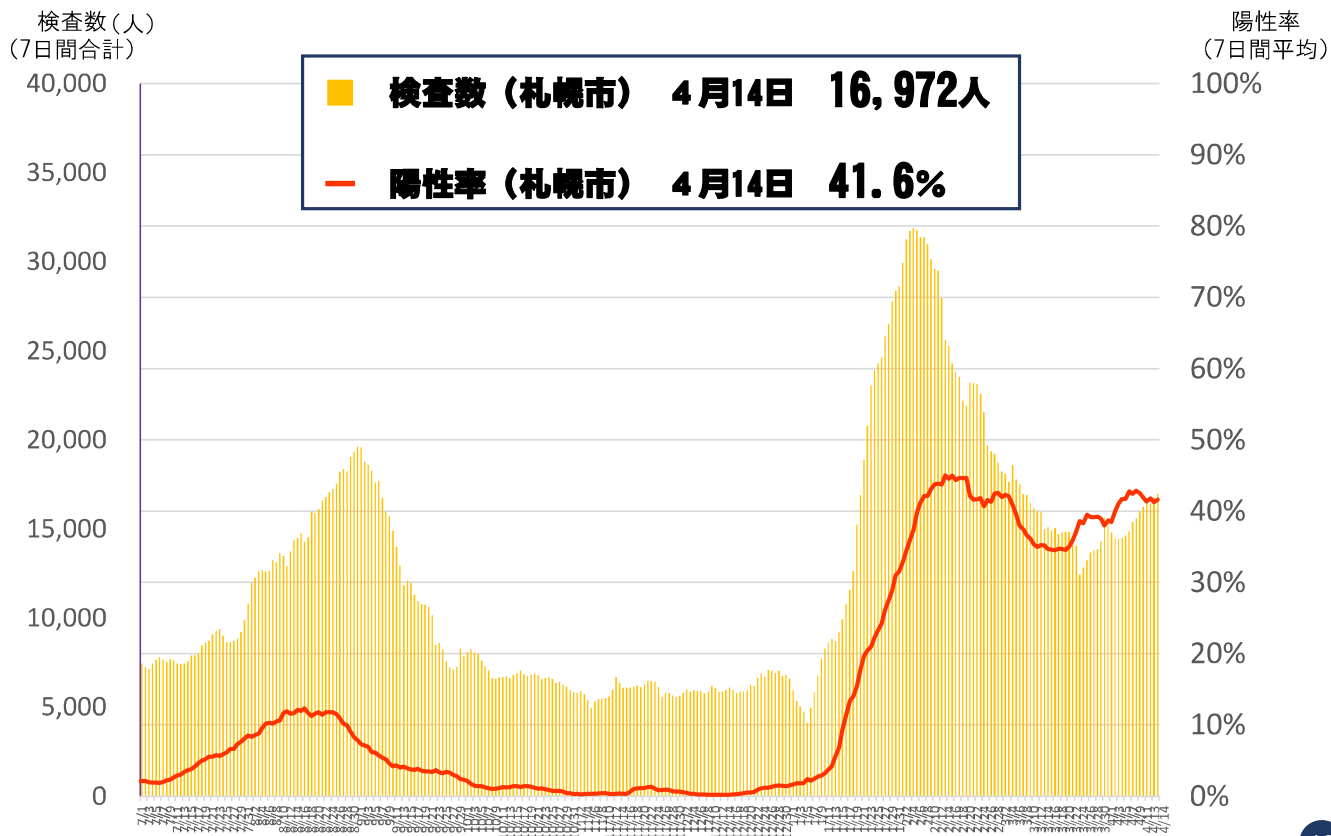
検査数と陽性率（全道）

検査数(人)
(7日間合計)

陽性率
(7日間平均)

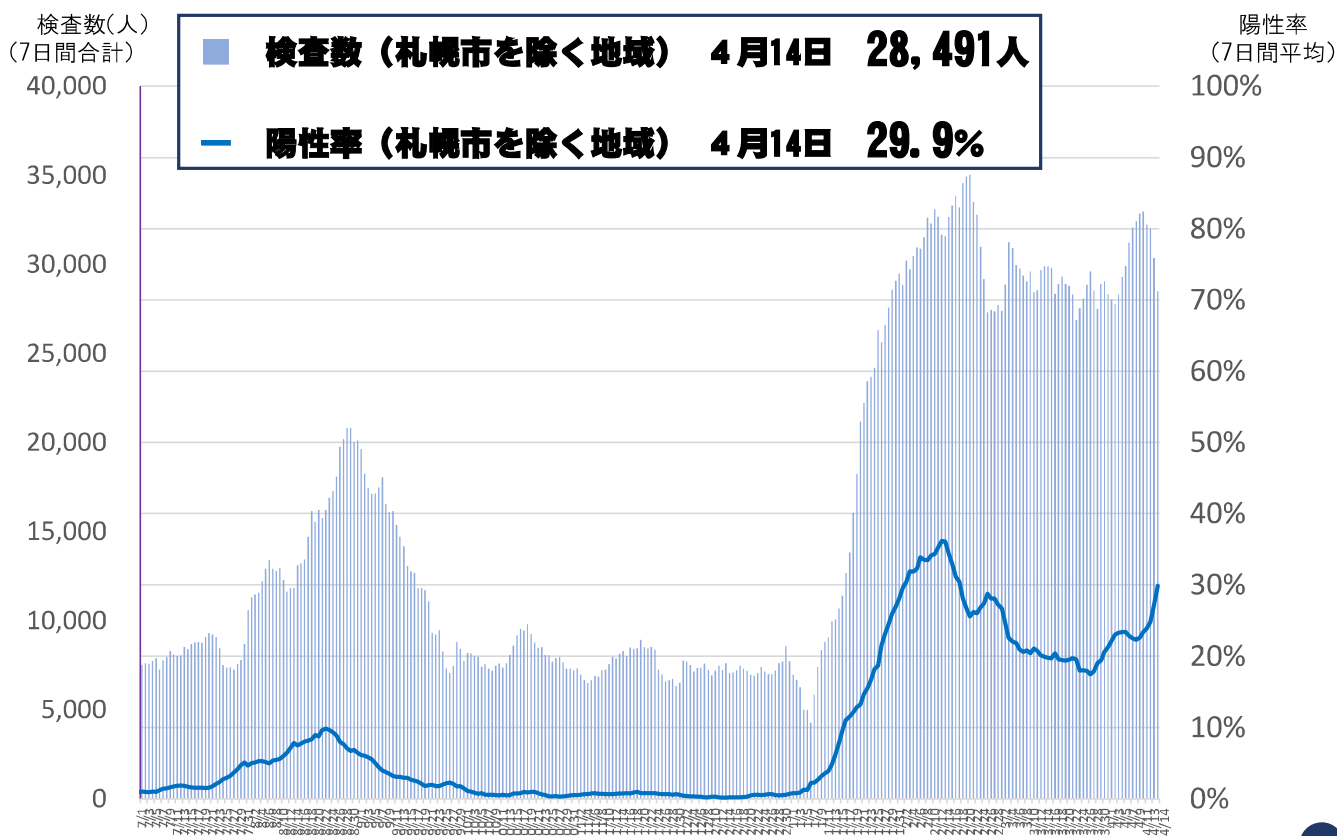


検査数と陽性率（札幌市）



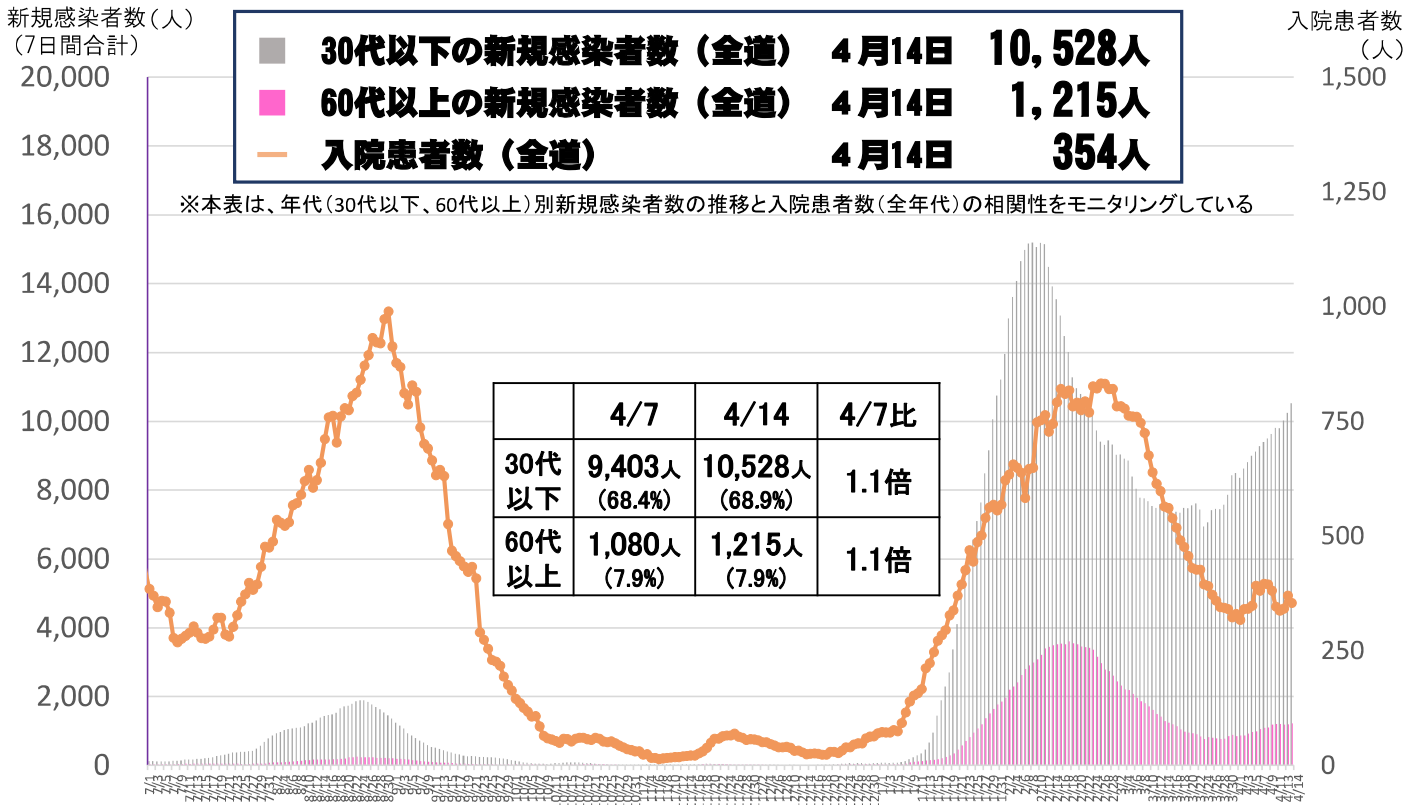
18

検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



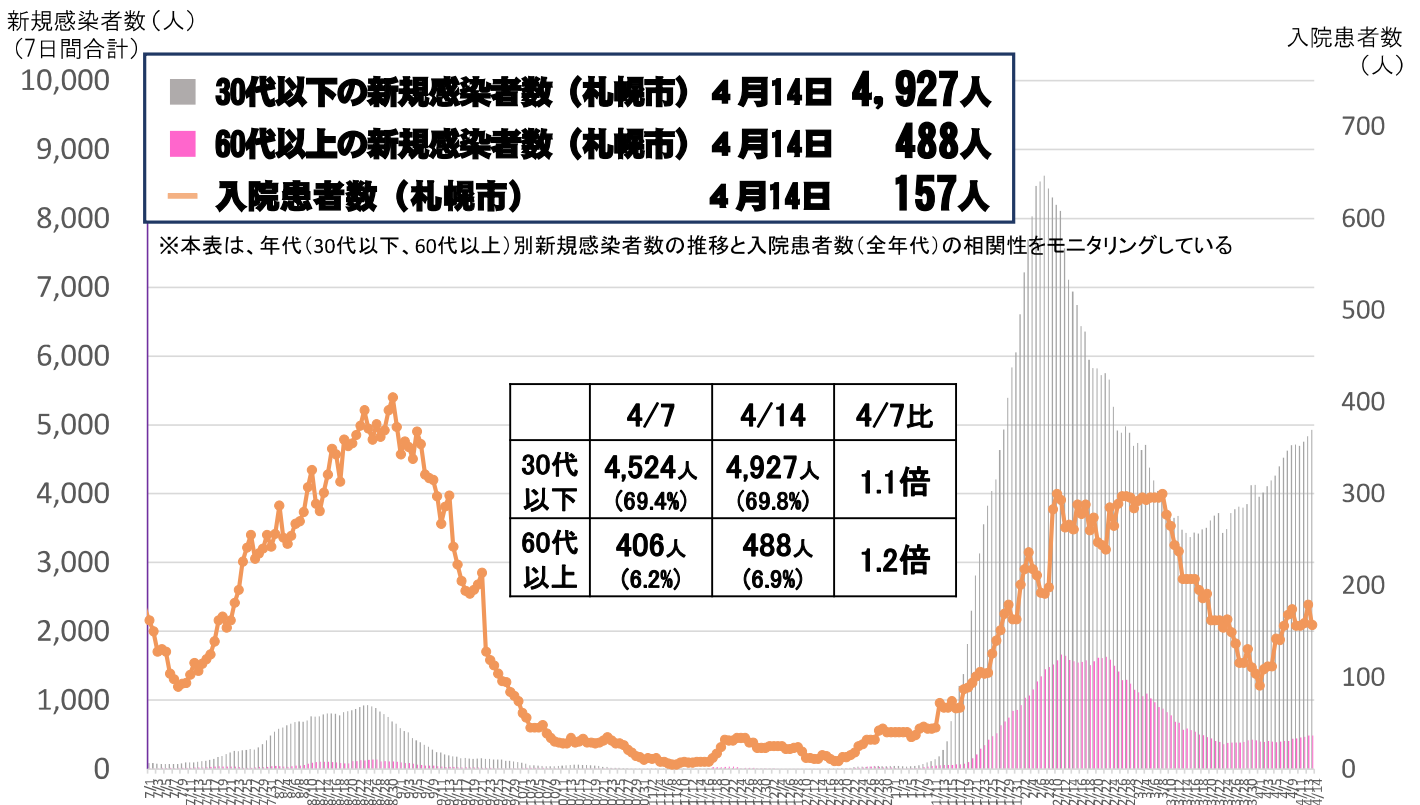
19

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)



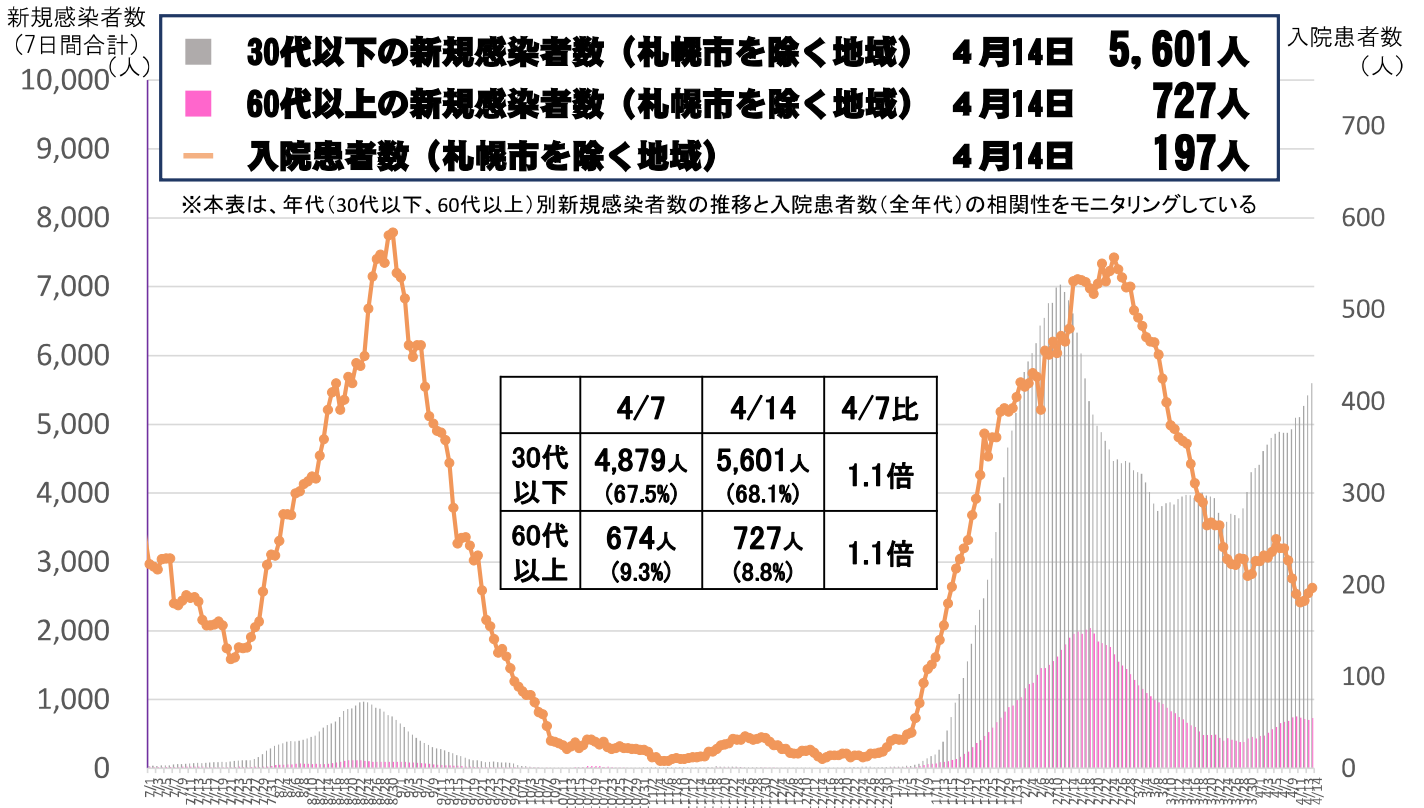
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)



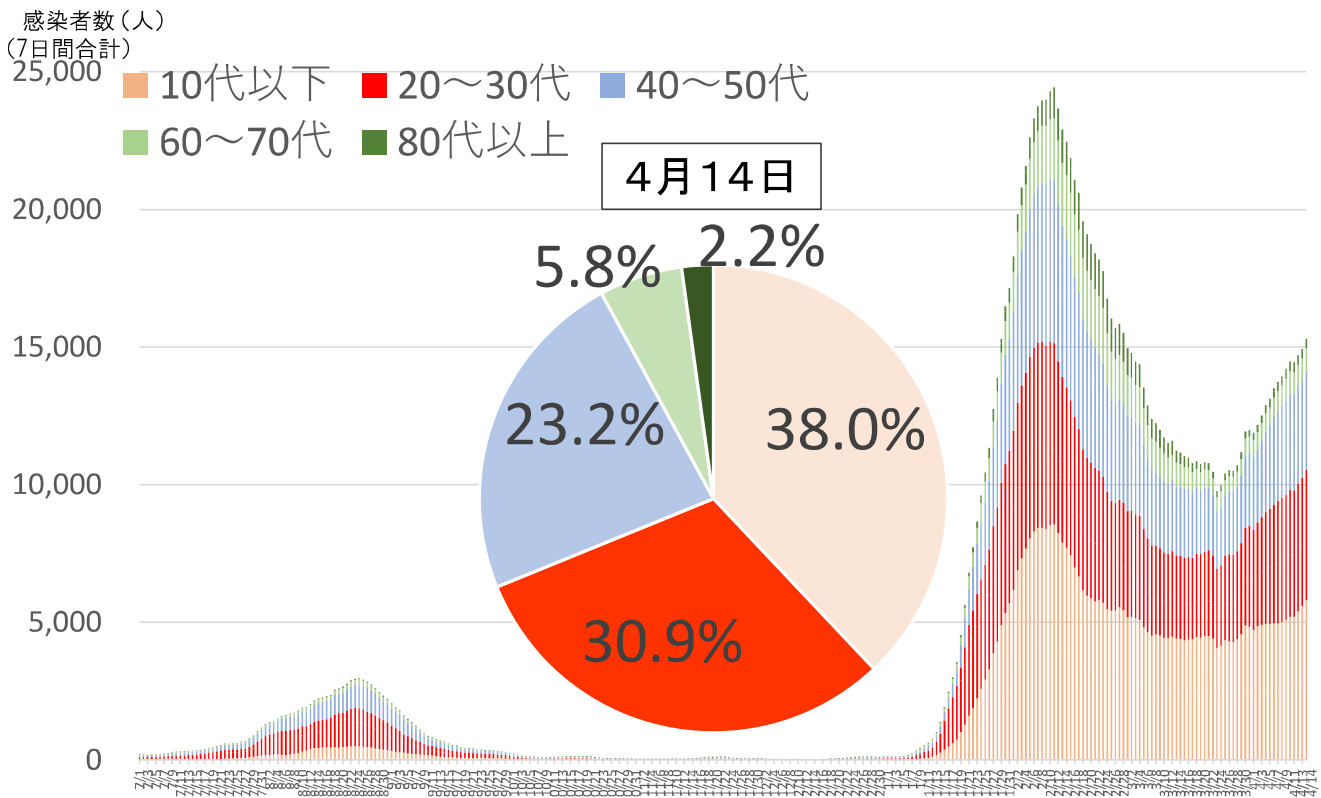
(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	3/25~31			4/1~7			4/8~14		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設	4件 (78人)	1件 (52人)	3件 (26人)	4件 (141人)	1件 (16人)	3件 (125人)	8件 (80人)	5件 (43人)	3件 (37人)
福祉施設	10件 (243人)	2件 (20人)	8件 (223人)	17件 (220人)	8件 (63人)	9件 (157人)	13件 (165人)	3件 (23人)	10件 (142人)
合計	14件 (321人)	3件 (72人)	11件 (249人)	21件 (361人)	9件 (79人)	12件 (282人)	21件 (245人)	8件 (66人)	13件 (179人)

24

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。4/13現在)

<3回目接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	2,453,990	46.9%
うち65歳以上	1,403,632	84.1%
(参考) 全国	59,206,196	46.7%
うち65歳以上	30,572,728	85.5%

<1・2回目接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む) >

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,278,222	81.8%	4,196,321	80.3%
(参考) 全国	102,815,736	81.2%	100,920,575	79.7%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない。また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

25

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。4/10現在) ※毎週月曜日更新

<3回目接種の状況>

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率	(参考) 全国の接種率
		3回目	3回目
12～19歳	344,145 (6.6%)	4.0%	5.4%
20～29歳	461,395 (8.8%)	22.7%	24.0%
30～39歳	545,877 (10.4%)	23.5%	25.9%
40～49歳	733,566 (14.0%)	29.1%	33.8%
50～59歳	697,270 (13.3%)	44.1%	51.3%
60～64歳	338,612 (6.5%)	59.8%	66.7%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	83.1%	84.8%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

26

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。4/13現在)

人口区分 (市町村別)	市町村 数	人口(人)	接種率(全年代)		
			1回目	2回目	3回目
100万人以上	1	1,961,575	79.6%	78.1%	42.1%
20万人以上	2	583,288	81.5%	80.0%	41.7%
10万人以上	6	849,242	82.2%	80.4%	46.4%
3万人以上	13	722,259	82.6%	81.0%	48.8%
1万人以上	33	578,442	84.4%	83.0%	55.5%
5千人以上	39	272,482	85.5%	84.0%	56.8%
3千人以上	41	165,341	86.1%	84.5%	61.1%
3千人未満	44	96,103	87.4%	85.9%	65.4%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない。)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

27

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 3回目接種等について①

- 4月9日から5月までの土曜・日曜・祝日(5月3日(祝)除く)に道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」を開設。
4月29日から5月8日接種分の予約については、本日(4月15日)から受付開始。
[4/16~24(計4日間)の予約状況]
予約枠 1,680件 に対し 950件受付、予約率 56.5%(4月14日12時現在)
※4/16(土)分は予定数に達したものの、それ以外の日程については空きがある状況。
[4/9、4/10(計2日間)の接種実績]
予約枠 840件 に対し 480回接種
- 国から要請のあった、都道府県の集団接種会場における企業や大学等の単位での団体接種については、現役世代や若者世代の3回目接種を加速するため、同センターで実施する。また、大学や企業からの問い合わせに対応するため、4月18日から指揮室ワクチン班内に相談窓口を設置。
- 職域追加接種についても、引き続き、国において申請を受け付けており、道内では4月14日時点で103件の申請があった。道内でも、順次接種が開始されており、実施企業等への支援に努める。
- 3回目接種を加速するため、新しい広報チラシやWEB広告、動画の公開など、集中的な広報・啓発を実施中。また、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回(1・2回目)接種が引き続き可能。今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。

28

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 3回目接種等について②

- 5歳以上11歳以下の小児への接種については、道内でも順次開始。接種率は、4月13日時点で全国の1回目9.6%、2回目3.3%に対し、道内は、1回目10.4%、2回目3.4%となっている。
引き続き、市町村の取組を支援するとともに、接種の有効性などについて、国民的な理解の促進に努めるよう国へ要望するほか、広報チラシなど様々な媒体を活用し、丁寧な情報発信等に努める。
- 武田社ワクチン(ノババックス)については、来週(4/18)以降、予防接種法に基づく予防接種として位置付けられる予定。
国からは、各都道府県に少なくとも1カ所の接種会場を設置し、速やか、かつ、円滑な接種体制の整備に取り組むよう要請されており、道においても設置箇所を調整中。
なお、国からは、第1クール及び第2クールのワクチン配送量やスケジュールが示され、道内には、5月下旬に約750回分のワクチンが配分予定。(アストラゼネカ社ワクチンの接種実績を参考)
- 4回目接種の実施については、接種対象者や接種間隔を含め、引き続き国の審議会等で議論することとされたが、国からは、今後、3回目接種を受けた全ての方を対象に実施することも想定し、5月中を目途に接種券の発送準備を完了するよう要請されており、道としては、詳細についての情報収集に努め、市町村へ情報提供して参る。

29

春の感染拡大防止に向けた 道民の皆様へのお願い (案)

令和4年4月18日 北海道

- 感染力が強いとされるBA.2系統への置き換わりが懸念される中、感染の急拡大を防いでいくため、道民の皆様にご協力をお願いする(3つのお願い)を定めました。
- 引き続き、感染状況等について慎重にモニタリングを行いながら、機動的に必要な対応を検討していきます。

道民の皆様にごお願いする3つの行動

その他事業者等の方々への要請・イベント

1

道民の皆様にごお願いする3つの行動

(特措法第24条第9項による要請)

1 普段から

- 三密回避、人との距離確保、マスク着用、手指消毒、換気を徹底しましょう。
- 混雑している場所や感染リスクの高い場所ではできる限り避けて行動しましょう。
- 普段会わない方や重症化リスクの高い方と接する際は、基本的な感染防止対策を更に徹底しましょう。
- 他の都府県への移動に際しては、基本的な対策を徹底し、移動先での感染リスクの高い行動を控えましょう。

2 飲食では

- 短時間、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用しましょう。
- 特に大人数や普段会わない方との飲食の際は、より一層徹底しましょう。
- 北海道飲食店感染防止対策認証店等を利用し、飲食店等の感染防止対策に協力しましょう。
- 飲食店等では、感染防止対策チェックリスト項目を遵守しましょう。
- 北海道飲食店感染防止対策認証制度の認証を取得しましょう。(協力依頼)

3 感染に不安を感じる時は

- ワクチン接種の有無にかかわらず、検査を受けましょう。(無症状の方に限ります。)
- 発熱等の症状がある場合は、外出や移動を控え、医療機関を受診しましょう。

2

その他事業者等の方々への要請

(特措法第24条第9項による要請)

- 職場においては、業種別ガイドラインを遵守しましょう。

高齢者施設、保育所、認定こども園等において

- 職員の体調管理を徹底し、体調が悪い場合には休暇を取得できる環境を確保しましょう。
- 感染の発生に備えた研修を実施するとともに、希望する職員のワクチン3回目接種等が進むよう配慮しましょう。
- 高齢者施設等においては、「介護現場における感染対策の手引き」等に基づく対応を徹底するとともに、保健所をはじめ道・市町村の関係部局と連携し、感染管理や医療に関する支援体制を確保しましょう。
- 保育所、認定こども園等においては、「保育所における感染症対策ガイドライン」等に基づき、基本的対策を徹底するとともに、発熱等の症状がある児童の登園自粛等を徹底しましょう。

学校において

- 衛生管理マニュアルに基づき、感染防止対策を校内で改めて確認するとともに、学校教育活動等における感染防止対策を徹底し、感染防止対策を講じてもなお、感染リスクが高い活動は実施を慎重に検討しましょう。
 - 宿泊を伴う教育活動(修学旅行、宿泊学習等)は、感染リスクの高い活動は実施を慎重に検討するとともに、保護者の意向や旅行先の受入の可否を確認した上で実施しましょう。
 - 部活動は、活動(時間、人数、場所、内容)を厳選して、感染防止対策を徹底の上実施し、これによりがたい場合は休止しましょう。
また、健康状態の多重チェックを行うとともに、感染防止対策の全校指導体制を確立するほか、対外試合等は、各競技団体等の感染防止ガイドラインに基づき対策を徹底の上、実施しましょう。
- 大学、専門学校等では、感染防止と面接授業・オンライン授業の効果的実施等による学修機会の確保の両立に向けて適切に対応しましょう。
また、学外活動等に係る感染防止対策や学生等への注意喚起を徹底しましょう。

3

イベントの開催についての要請

(特措法第24条第9項による要請)

人数上限は、人数上限と収容率でどちらか小さい方を限度とします。(両方の条件を満たすことが必要)

感染防止安全計画	人数上限	収容率	
策定なし	5,000人又は収容定員50%以内のいずれか大きい方	大声なし	100%以内 (席がない場合は適切な間隔)
		大声あり	50%以内 (席がない場合は十分な間隔)
策定あり	収容定員まで	100%以内(大声なしが前提)	

※1 大声とは、「観客等が通常よりも大きな声量で反復・継続的に声を発すること」で、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが大声ありに該当

※2 感染防止安全計画では、イベント開催時の必要な感染防止策を着実に実行するため、イベントごとに具体的な感染防止策の内容を記載(参加人数が5,000人超であって収容率50%超のイベントを対象とし、イベント開催の2週間前までの提出)

4

「春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い(道案)」等に対する
主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

感染経路不明割合が上昇傾向にある中で、大型連休を前にさらなる感染拡大が懸念される。現在、積極的疫学調査はハイリスク施設に重点化され、感染の可能性がある者の特定は、感染者ご本人や事業者が実施することになっているが、対応方法を改めて周知する必要がある。

1-②

感染の状況が収まらないので、引き続き、感染対策を継続すべきと考える。北海道の3回目ワクチン接種率が全国平均に追いついて良かった。より一層のワクチン接種の推進、特に若い世代の接種の加速をお願いする。

1-③

道案に異論なし。
高齢者施設等で感染者が確認された際の対応について、引き続き、入所者の症状や持病の状況に応じ、入院や施設内療養などの対応をお願いする。

1-④

感染防止対策を進めつつ、社会経済活動をどう回復させていくかが重要であり、そこにしっかりと取り組んでいただきたい。

1-⑤

道案に異論なし。
新規感染者数が2,000人を超えるなど増加傾向にある中、感染者における世代別などでの主な感染経路やリスクの高い行動など、感染の実態に応じた注意喚起を行う必要がある。
また、自身や身近な人が新型コロナに感染した時の対応の流れ等について、あらためて周知をお願いしたい。

1-⑥

道案に異論なし。
ただし、30代以下の感染が7割を占めていることから、若者に対する感染予防の啓発を工夫していただきたい。
テレビを見ない若者へは、WEBでの発信などを強める必要があると思う。若者の行動制限、3回目ワクチン接種啓発の工夫が求められていると考える。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

新規感染者数が増加傾向にある中、感染拡大への不安を感じる市民が増えている。不安の解消だけでなく、感染の早期発見のためにも、現在、道が行っているPCR等検査無料化推進事業において、実施機関の拡充や対象期間の延長など、感染状況に応じた柔軟な運用を行っていただきたい。

2-②

新規感染者数が増加傾向にあり、多くの方が自宅療養となっている。不安なく自宅療養ができるよう、相談対応や物資支援など、引き続き、サポート体制の充実をお願いする。

感染に不安を感じる無症状の方が、希望どおりに無料でPCR等の検査が受けられるよう、検査キット等の物資支援を含めた検査体制の充実をお願いする。

2-③

これまでの取組を継続することに異論なし。

これからゴールデンウィークを迎えるが、今一度、道民の気の緩みを引き締めるべく、マスクの着用、換気の励行、黙食の徹底といった一人ひとりができる基本的な感染対策を、強いメッセージで発信していただくようお願いする。

感染拡大の防止

- 文化・スポーツ関連団体や廃棄物処理関連団体等と本部開催状況の情報共有
- 道有施設における「北海道スタイル」の実施、非接触型展示の導入
- 道内関係のアスリートによる感染拡大防止メッセージ動画「スポーツの力でともに乗り越えよう！」の配信 など



非接触型展示の導入（北海道博物館）
※センサー式（手をかざして操作）



鶴西選手（スキージャンプ）によるメッセージ

差別・偏見の防止

- 差別・偏見など人権問題に対応するための相談窓口の設置、相談事例を紹介するチラシの作成・配布
- 差別防止等の呼びかけ（ポスター・チラシの作成・配布、インターネットバナー広告、「北海道スタイル」のピクトグラムに人権啓発を追加）
- コンサドーレ札幌の選手による、差別や偏見をなくすよう呼びかけるメッセージ動画の配信 など



差別防止等を呼びかけるインターネットバナー広告



ピクトグラム

感染状況を踏まえた事業展開

- 道内の博物館・美術館の施設や収蔵品の情報、縄文をテーマとした周遊ルート等のコンテンツを「北海道デジタルミュージアム」で発信
- 人形劇や対話によりアイヌの歴史や文化に触れられる動画「きっとだれかと話したくなるアイヌ文化」の配信
- 道内の自然公園を活用したワーケーションの定着・発展に向けたモデルプランの策定、ガイドブックの作成 など



「きっとだれかと話したくなるアイヌ文化」
人形劇/タケシロウとルイカ



北海道デジタルミュージアム サイト